

図書館の本だな

～5・6年生 おすすめの本のリスト 2024～

扉のむこうの物語

岡田 淳 作・絵 理論社 913-オ

行也のクラスでは冬休みに自分で課題を考えると、特別な宿題が出ていました。いろいろ考えてみた結果、行也は物語をつくることにします。しかし、実際に書きはじめてみると、すぐにいきづまりました。そこで行也は最初から原稿用紙に書こうとせず、ノートに物語を作るためのヒントを書き込むことにしました。

どうぶつ会議

エーリヒ・ケストナー 文 光吉 夏弥 訳

岩波書店 943-ケ

動物たちは、人間が戦争や革命などを起こし、政治を論じて会議ばかりしている姿に、ばかばかしくなっていました。ゾウのオスカーは子どもたちのためにどうにかしなきゃなるまいと考え、六本の長距離電話をもうしこんで、世界じゅうの動物たちに電話をします。そして、一ヶ月後に動物たちで会議をひらくことにしました。

ホビットの冒険 上・下

J. R. R. トールキン 作 瀬田 貞二 訳 岩波書店 933-ト

気のいいホビット小人のビルボは、魔法使いのガンダルフと十三人のドワーフ小人たちに誘い出され、竜に奪われた宝を取り返す旅に出ました。旅の途中、魔法の指輪を手に入れたビルボは命がけでいくつもの危険をくぐりぬけ、仲間たちとともに恐ろしい竜スマウグとの戦いにいどみます。

空へつづく神話

富安 陽子 作 偕成社 913-ト

理子は、神様をちっともあてにはしていませんでした。ところがある日、理子は図書室で記憶をなくした白ひげの神様に出会います。神様と話するうちに理子は、神様を永い眠りからよびよせたものが「津雲の史蹟」という一さつの本に関わっていると気づきます。神様はすべてを思い出すまで、しばらく理子の部屋に住むことになりました。

なみだでくずれた万里の長城 中国の民話

唐 亜明文 蔡皋 絵 岩波書店 E-サ

となりどうしですむ孟さんと姜さんは、ふたりの家のあいだをとびまわるツバメをかわいがっていました。つぎの春、ツバメが運んできたのは、ひょうたんの種でした。孟さんが種をにわにうめ、ひとつだけみのった大きなひょうたんを、ふたりは、はんぶんに分けることにします。ひょうたんをわると、なかにはあかちゃんがすわっており、孟姜女となづけられました。うつくしくそだった孟姜女は、あるひ、うらにわの木のかげに人がかくれているのをみつけます。

アラビアン・ナイト

ケイト・D・ウィギン、ノラ・A・スミス 編

坂井 晴彦 訳 福音館書店 929-セ

ある日、アリ・ババが森の木を切っていると、馬に乗った盗賊の群れが走ってくるのが見ええました。アリ・ババが大木によじ登りかくれていると、盗賊の親分らしい男が「ひらけ、ゴマ!」ととなえます。そのとたん、岩にとりつけてある戸がひとりでにひらき、盗賊たちは岩の中へ入っていきました。(「アリ・ババと四十人の盗賊の話」)

日曜日島のパパ

パッテル・リードバック 作 菱木 晃子 訳 岩波書店 949-リ

ヴィンニは八歳の元気な女の子です。夏休みがおわるまで、ふだんははなれて暮らすパパと『日曜日島』という海にある小さな島ですごします。日曜日島では、友だちのオッレとターザンみたいに岩山から海にとびこんだり、夏至のお祭りに参加します。お祭りの日はお客さんたちといっしょにランチを食べ、ダンスやゲームをして楽しみます。

なんで信長はお城を建てたの？

畑中 英二 著 新泉社 521-八

中学1年生のホタカは、以前にお父さんと一緒に行った安土城へ一人旅をしてから、少しずつお城に興味がわいてきました。そして、姫路城、甲賀・上野城とお城巡りをし、夏休みには安土城の発掘調査に参加します。お城を愛する人たちとの出会いや、知れば知るほどもっと知りたくなるお城の魅力にすっかり夢中になり、お城についていろいろ調べ始めます。

ひと粒のチョコレートに

佐藤 清隆 文 福音館書店 588-サ

とてもよい香りがして、甘さと苦みのあるチョコレートは「お菓子の王様」と言われています。パリッと折れてかたいのに、口の中に入れるとトロツととけて、おいしさが広がるのは、チョコレートが不思議な油でできているからです。チョコレートの原料であるカカオ豆は、赤道近くの熱帯雨林で育ちます。人類がカカオに出会い、チョコレートを作り上げるまでには、1万年近い時間がかかりました。ひと粒のチョコレートは、自然の持つ力と人の技術が合わさった、奇跡のような結晶なのです。

なまこのぼんぼん

内田 麟太郎 著 銀の鈴社 911-ウ

「かえるは かえるあてがなくとも ——かえる。 というのである あるきくたびれたら おちばにもぐりこみ ねむるのである」（「かえる」より）
生き物や天気、宇宙など、自然に目を向けた言葉で語られていく詩集です。